

# 宇治支援学校の言葉

ウジシエンガッコウのことば

平成23年度 No.2 7/20発行

京都府立宇治支援学校

〒611-0031 京都府宇治市広野町丸山10  
TEL 0774-41-3701 / FAX 0774-45-2220

## 「子どもたちのつながる力」

校舎の屋根に力強く夏雲がわきたっています。

本日より一学期が無事終了いたします。

新しい環境の中で、本校の児童生徒223名が元気に夏休みを迎えられたことを心から喜びあいたいと思います。

学校は開校当初から保護者、地域、関係の皆さまから御理解と御支援を受け、子どもたちの学校生活は多くの人に支えられていることを実感いたしました。学校を支える人たちとのこのネットワークを着実に広く強くつないでいくことがこれからも大切になってきます。

子どもたちにとっても、新しい環境への変化はいろいろな形で戸惑いや緊張をもたらしましたが、毎日の学校生活の中で、それを乗り越え、宇治支援学校の子どもたちは新しい関係をつくり出しています。必要な支援や具体的な手立て、指導の工夫、配慮を整えて、授業は子どもたちのつながる力を引き出していきます。

子どもたちが力を見せるのは、自分たちが自分たちで生活を整える具体的な目標がある授業場面です。また、友だちと一緒に活動する時に、大切な力を生み出しています。それは、つながる力、コミュニケーションする力です。

例えばある集まりの時、前で長い話がされて、少し理解するには支援が必要なだけけれど子どもたちがその場を離れないのは、隣に、前に友だちがいるからです。つながる力が子どもたちを支えています。

そうした力を子どもたちが見せているのは、高等部のランチルームでの食事場面がわかりやすいところです。

食べるのが遅い子も、早い子も、好き嫌いのある子も、ない子も、クラスのテーブルで一緒に食べています。子どもたちのつながる力で喜びがあふれています。

本校には京都府の特別支援教育拠点機能として「京都府スーパーサポートセンター」があります。このセンターは地域と学校をつなげる相談や研修等をおこなっています。まだ、知られていないところもあるのですが、京都府全体の特別支援教育を充実させるために、子どもたち、先生たち、保護者、関係機関の「どうなんだろう？ どう考えたらいいんだろう？」に応え、多くの人たちと専門性のあるネットワークを形成して、広く府民の皆さんに役立つことを実感してもらえるように努めています。

宇治支援学校はここまで、皆さんの励ましに支えられ子どもたちのつながる力を生活の中で培ってきました。わかったことは、子どもたちには意欲と力があり、それを引き出すのは「ほめる」ことだということです。本気で、的確にほめる、それをそれぞれのコミュニケーションの力に応じて確実に伝えることで、更に子どもたちは力を伸ばしていくでしょう。

長い夏休みは子どもたちや御家庭に御負担をおかけしますが、1学期につけた子どもたちの「生活の中で生きるすべ」「つながる力」を家庭・地域でのいろいろな場面で発揮して、子どもたちをほめていただくようお願いいたします。

京都府立宇治支援学校  
校長 松本 公雄

## 小学部

小学部では「遊びの指導」を授業の中心に据えて取り組んできました。7月の「プレイフェスタ」では、ダイナミックに体を動かすこと、友だちと一緒に遊ぶことの楽しさを知ること、楽しく遊ぶためのルールを学ぶことなどを目当てにしていたのですが、子どもたちは自分から進んで「遊び」に参加したり、他のクラスの友だちを誘って一緒に遊んだりする姿を見せてくれました。

また、今学期、音楽療法を取り組んでおられる方に来ていただき、一緒に授業をしました。このように地域との交流も少しずつですが始まっています。

これからも様々な体験を通して、楽しく元気に、生活に生きるすべが身に付けられる授業を進めていきたいと思えます。



## 中学部

中学部では、「生活単元学習」で実際の生活の場面の中で「生活に生きる力を学習する」ために5月から地域の公園に出かけたり、近くのスーパー等での買い物学習を行ったりしています。出かける前には、交通ルールやマナー、挨拶等を教室で事前学習をし、廊下等で列になって歩く練習をしました。今では、校内でも挨拶やマナーを守る生徒が増え、校外に出る時は前の歩道を一列で歩いて出かけています。また、地域との触れ合いも挨拶をすることで少しずつ進んでいます。2学期も地域との関わりを普段の授業で大切にしていきたいと思えます。



## 高等部

学習テーマは、「はたらく、役立つ、生活する」です。普段の生活の中で何気ない一コマ一コマに人とのつながる要素や意味、成果が見られます。みんなが座って順番を待つ。プールをみんなのために掃除するなど、今後も生活単元学習、作業学習等を通じて、さらに可能性を伸ばしていきます。また、校内実習、企業・施設実習では、緊張感のある中で持てる力を発揮できた生徒、働くための新たな課題が見えてきた生徒など、卒業後の生活に向けてそれぞれ得ることが多くありました。

最後に、生徒の笑顔は大きなエネルギーになります。そして何よりも、最高の笑顔は生徒の心の中に「つながりたい、伝えたい、達成感」などを生みます。私たちはこの思いとともに学んでいきます。

